

「地理総合」年間指導計画にもとづく評価規準例

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
第1編第1章	私たちが暮らす世界	4月	3	<ul style="list-style-type: none"> 世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 緯度・緯度の違いが、私たちの生活にどのような影響を与えているのかを理解する。 地球儀と世界地図の違いを理解し、用途に応じて適切に利用できるようにする。 日本の位置と領域を理解するとともに、排他的経済水域の重要性を考える。
	1 緯度・経度 【24時間、地球は眠らない。】			<ul style="list-style-type: none"> 緯度や経度の基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 緯度や経度について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 緯度や経度の違いが私たちの生活に与える影響について、緯度や経度の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 緯度や経度と、私たちの生活との関係に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地軸の傾きや自転・公転による影響を理解する。 地球上には常に昼と夜が存在することを理解し、時差の影響やそれに対する工夫を考える。
	2 地球儀と世界地図 【丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。】			<ul style="list-style-type: none"> 世界地図と地球儀についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 目的に応じて地図の種類を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界地図や地球儀の利用法について、世界地図や地球儀の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界地図と地球儀の特徴に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図にはさまざまな種類が存在することについて理解する。 地球を平面の地図では正確に表現できないことを理解し、地図の種類に応じた用途の多様性を考える。
3 日本の位置と領域 【小さな島が、大きな意味をもつのはなぜ?】			<ul style="list-style-type: none"> 日本の位置と領域、日本が抱える領土問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 日本の位置と領域、日本が抱える領土問題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家と領域、日本の領土問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の位置と領域に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の位置と領域について理解する。 排他的経済水域について理解し、その重要性について考える。 	
第1編第2章	地図や地理情報システムの役割	4月～5月	4	<ul style="list-style-type: none"> 地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。 さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。 GISを操作し、計測結果や主題図を表示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地図があることを理解し、地図利用の可能性を考える。 地形図や地理院地図の特徴を理解する。 主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けるのかを考察する。 GISとは何かを理解し、活用の可能性を考える。
	4 地図の種類 【地図を使わない人は、ほとんどいない。】			<ul style="list-style-type: none"> 地図の分類についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 縮尺に留意して地図を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図の種類について、縮尺・媒体などに着目し、適切に整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある地図に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活にさまざまな地図が利用されていることを理解する。 多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考える。
	5 地形図のルール 【地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。】			<ul style="list-style-type: none"> 地形図や地理院地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 地形図や地理院地図から有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地形図や地理院地図の特徴を、縮尺・地図記号・用途などに着目し、適切に整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地形図や地理院地図に関心をもち、それらを意欲的に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地形図から読み取れることについて理解する。 地理院地図の特徴を理解し、紙の地形図との違いについて考察する。
	6 主題図の種類と読み取り 【このテーマ、どんな地図で表すべきか。】			<ul style="list-style-type: none"> 主題図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 統計の数値に応じて主題図の種類を選択し、有用な情報を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな統計数値を収集し、有用な情報を選択して、適切な主題図で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 主題図の読み取りと作成に対する関心を高め、意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主題図にはさまざまな表現方法があることを理解する。 主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けるのかを考察する。
	7 地理情報システムと地図 【地図の可能性は、まだまだ広がる。】			<ul style="list-style-type: none"> 地理情報システム(GIS)についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 GISから有用な情報を選択して読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> GISを操作し、距離や面積などの計測結果や主題図などを表示している。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまなGISを実際に使用し、GISのしくみやGISで実行できることをとらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理情報システム(GIS)が幅広い分野で使われていることについて理解する。 GISとは何かを理解し、私たちの生活への影響を考える。
第1編第3章	資料から読み取る現代世界	5月～6月	5	<ul style="list-style-type: none"> 交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 交通・通信手段や貿易構造の変化、世界の国家群の特徴などについて、地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。 交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間における結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通・通信網の整備や、人・モノ・情報の移動に関して、図表の読み取りを通じて理解する。 地域経済圏や国家群がどのように形成され、現状はどのようになっているのかなどについて、図表の読み取りから理解する。 交通・通信技術の発達により人やモノ、情報が国境をこえてやり取りをされるようになったことについて、適切に理解する。 国境をこえた経済活動や政治的なつながりが、人・モノ・情報などのやり取りに大きく影響を及ぼしていることに着目し、現代世界におけるグローバル化の進展について課題意識をもって考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	8 交通の発達 【地球は、どんどん小さくなっている?】			<ul style="list-style-type: none"> 交通の発達と世界の一体化、さまざまな交通手段についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 交通の発達により時間距離が縮まったことや、国ごとに主に利用されている交通機関の違いを、地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通の発達によりどのように世界各地が結び付いたのかを、各交通機関の特徴や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通の発達と世界の一体化、さまざまな交通手段の長所や短所に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通手段の多様性とその長所・短所について理解する。 交通手段の発達による生活の変化を考える。
	9 情報通信の発達 【世界中が、ネットでつながりはしたけれど。】			<ul style="list-style-type: none"> 情報通信網やさまざまな通信技術、それらの発達についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 情報通信網やさまざまな通信技術、それらの発達について、地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信の発達によりどのように世界各地が結び付いたのかを、歴史的背景や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信の発達と社会の変容に対する関心と、それにともなつて生じたさまざまな課題に対する意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 通信情報技術(ICT)の発達について理解する。 通信網の発達による生活の変化と生じた課題について考える。
	10 国境をこえる人々の移動 【仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。】			<ul style="list-style-type: none"> 国境をこえて移動をする人々やその目的、移動する地域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 国境をこえて移動をする人々やその目的、移動する地域について、地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国境をこえて人々がなぜ移動をするのか、どうして移動が活発になっているのかを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人々が国境をこえた移動をする背景や、それにともなう問題点に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国境をこえる人々の動きについて理解する。 どのような理由で人々がどこからどこへ移動するかを考える。
	11 拡大する貿易 【国どうしの貿易は、どう変化しているのか。】			<ul style="list-style-type: none"> 世界の貿易額の増大、日本を含む各国の貿易の特徴や産業構造の変化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 世界の貿易額の増大、日本を含む各国の貿易の特徴や産業構造の変化について、地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 貿易のしくみや、貿易量や品目の変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界及び各国の貿易構造、その変化に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の貿易とさまざまな地域貿易圏について理解する。 国際分業と産業の変化について考える。
	12 つながる世界、多極化する世界 【国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう?】			<ul style="list-style-type: none"> 世界にあるさまざまな国家群についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 世界にあるさまざまな国家群について、地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の国家間の結び付きやその役割について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家がどのように結び付き、それらがどう変化したのかに関して、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家間の結び付きとその役割について理解する。 多極化する世界の変化について考える。
第2編第1章	人々の生活文化と多様な地理的環境 1節「生活文化の多様性と国際理解」 2節「生活文化と自然環境①地形」 3節「生活文化と自然環境②気候」 4節「生活文化と産業」	6月～10月	14	<ul style="list-style-type: none"> 世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界には多様な文化が存在すること、近年それが均一化する傾向にあることを理解する。 地形や気候が地域によってどのように異なるのか、そしてそれらが人々の生活にどのように影響を与えてきたかを考察する。 技術の発展やグローバル化の進展などにともなない、人々の生活文化や産業及びその立地がどのように変化しているかを考察する。
	(1節 生活文化の多様性と国際理解) 13 文化の地域性と多様性 【肉じゃがといえど「牛肉だ!」「豚肉だ!」】	6月		<ul style="list-style-type: none"> 文化の地域的な多様性についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 日本国内における文化的な差異や地域的傾向を、地図の読解を通じて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化の地域的な多様性がなぜ生じるのかについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な文化が均一化の傾向にあることなど、現代では文化が変容しているものがあることについて関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域によって文化が異なる理由について理解する。 文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解する。
	14 宗教と人々の暮らし 【宗教に根ざした、習慣や文化がある。】			<ul style="list-style-type: none"> 宗教と生活習慣との関わりや、世界でみられるさまざまな宗教の特徴について、写真の読み取りなども通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 世界の宗教分布と信者数について、地図や図表の読み取りを通じて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな宗教の生活規範などの特徴について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 宗教のもつ役割や他の宗教への理解や尊重の必要性について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の宗教の分布について理解する。 宗教ごとに特徴的な生活習慣や規範があることを理解する。
	(2節 生活文化と自然環境①地形) 15 山地の暮らし 【山に住むには、どんな工夫が必要なのか。】	7月		<ul style="list-style-type: none"> 山地に暮らす人々の生活について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 山地での生活の工夫や独自の文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 山地における伝統的な資源の利用と文化の形成、および現代社会における重要性について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 山地におけるさまざまな暮らしの工夫について理解する。 山地における自然的、文化的なめぐみに気づき、その利用について理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	16 平野の暮らし 【流れる川が、地形を変えていく。】			・平地におけるさまざまな地形の特徴やそれらの土地利用について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・平地のさまざまな地形における、人々の生活や産業の工夫について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・平地のさまざまな地形において、近年における利用の変化や重要性について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○河川がつくる平野の小地形について理解する。 ○宅地化による土地利用の変化が、どのような影響をもたらしているかを理解する。
	17 海岸の暮らし 【さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。】			・さまざまな海岸地形の特徴や、人々によるそれらの利用について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・さまざまな海岸地形の特徴に応じた、海からの資源を活用した人々の生活や産業の工夫について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・自然的な海岸の変化や人為的な海岸の改変について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○さまざまな海岸の地形とその利用について理解する。 ○海岸の地形が自然的、人為的要因によって変化していることを理解する。
	(3節 生活文化と自然環境②気候) 18 多様な気候とその分布 【なぜこれほど違う？暑さ、寒さ、雨の量。】	9月		・地球上における気候の違いと、それによって生まれた異なる景観について、グラフ・地図や写真の読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・気温や降水量の違いが生じるメカニズムを、緯度ごとの太陽からうける熱量の違いや地球全体の大気の流れなどの要因から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・気温や降水量の違いが与える地域への影響や、生活様式や産業にもたらす変化について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○大気の大循環によって生じる気圧帯について理解する。 ○気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し、それらが衣食住に与える影響を考える。
	19 熱帯の人々の暮らし 【強い日差しと激しい雨。人の暮らしと農業は？】			・熱帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・熱帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・熱帯における人々の生活やその工夫と、気候に対応した農業について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○熱帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解する。 ○熱帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考える。
	20 乾燥帯の人々の暮らし 【雨が少ない！どうやって水を得る？】			・乾燥帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・乾燥帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・乾燥帯における人々の生活やその工夫と、農業や水の確保について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○乾燥帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解する。 ○乾燥帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考える。
	21 温帯の人々の暮らし 【クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。】			・温帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・温帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・温帯の各気候区における気候や植生・土壌の特徴と、自然環境に対応した農業について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○温帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解する。 ○温帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考える。
	22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし 【長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは。】			・亜寒帯・寒帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・亜寒帯・寒帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・亜寒帯・寒帯における人々の生活・産業やその工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○亜寒帯・寒帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解する。 ○亜寒帯・寒帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考える。
	(4節 生活文化と産業) 23 食生活と農業の分布 【人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか。】	10月		・各地域の農業生産の特徴や食文化のグローバル化について、写真やグラフ・地図の読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・農業形態の違いや地域的な分布、農業と食文化の関連性について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・農業が自然環境や技術の発展、グローバル化の影響で多様性が生じたり変化したりしていることについて関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○自然環境の面から、食生活の地域差について理解する。 ○社会環境の面から、農業形態の地域差について理解する。 ○食文化に多様性が生じる理由について理解する。
	24 工場立地の変化 【工場は、どんな理由でどんな場所に建つのか。】			・さまざまな工業や工場の様子や各地の工業生産について、写真や地図などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・工業の発展と生活の変化、さまざまな工業の立地の特徴について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・国・地域ごとの経済発展や工業化の違いや、国際分業の進展について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○工業立地について理解する。 ○労働集約的な工業の立地が移動する理由を理解する。 ○新興工業国と先進国との工業の違いが生じる理由について理解する。
	25 商業立地と人々の生活 【売り方も、買い方も、社会とともに変化するか。】			・さまざまな商業地域や店舗の様子、商業の変化について、写真やグラフの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・販売される商品の種類や買い物行動と店舗の立地について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・情報通信技術の発達によって、どのような大きな変化が商業や消費行動に表れているかについて関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○商業の立地の違いについて理解する。 ○インターネットの普及により、商業にどのような変化が生じたのかを理解する。
	26 情報産業の発達と生活文化の変化 【ものづくりも働き方も、ICTが変えていく。】			・情報産業が集積している地域の様子や発展を遂げるさまざまな情報通信技術について、写真や図などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・情報通信技術の発展によって産業や社会がどのように変化しているかについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・情報化社会が進んだことによる生活の変化や、国境をこえて新たに生じるようになった問題について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○通信産業の発展による世界の変化、産業の情報化について理解する。 ○情報化社会における働き方について考える。
第2編第2章	さまざまな地球的課題と国際協力 1節「地球環境問題」 2節「資源・エネルギー問題」 3節「人口問題」 4節「食料問題」 5節「居住・都市問題」 6節「民族問題」 7節「持続可能な社会の実現をめざして」	11月～12月	11	・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地球環境問題の背景と影響を理解し、解決策を考察する。 ○さまざまな資源・エネルギーの特徴を理解し、生産や消費のあり方を考える。 ○人口問題および居住・都市問題に関して、発展途上国と先進国とに分けて、問題が発生する背景や特徴を理解し、解決策を考察する。 ○食料問題の地域的な特徴や問題が生じる背景について理解し、解決策を考察する。 ○民族問題・難民問題の現状と背景を理解し、改善に向けてどのような取り組みが可能であるか検討する。 ○地球規模で取り組むべき課題の内容や特徴を確認し、解決や改善に向けた取り組みを考える。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	(1節 地球環境問題) 27 地球環境問題(1) 【大気と海に、何が起きているのだろうか。】	11月		・大気や海洋に関わる環境問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地球温暖化や海洋のプラスチックゴミによる汚染について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・世界各地で起きている地球環境問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・さまざまな要因がからむ地球環境問題に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地球規模の環境問題が、人間の活動によって引き起こされていることを理解する。 ○生産・消費活動により環境問題が発生することを理解し、解決法を考える。
	28 地球環境問題(2) 【森林減少と砂漠化、その原因を探る。】			・森林減少や砂漠化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・森林減少や砂漠化の状況やメカニズムについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・深刻化を増す森林減少や砂漠化について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・世界のさまざまな地域で起きている森林減少や砂漠化に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○森林の減少や砂漠化の進行について理解する。 ○森林の減少や砂漠化が人間の活動によって引き起こされていることを理解し、改善に向けた取り組みを考える。
	(2節 資源・エネルギー問題) 29 資源・エネルギーの偏在 【誰もが、欲しがる。だから、取り合いに。】			・深刻さを増す世界の資源・エネルギー問題について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・消費の急増や枯渇の危機、南北格差など、さまざまな問題を抱える世界の資源・エネルギーについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・世界の資源・エネルギーをめぐるさまざまな問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・枯渇の危機に直面している世界の資源・エネルギー問題に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○資源・エネルギーの生産地と消費地は地理的に離れていることを理解する。 ○新興国のエネルギー需要の増加を理解し、資源を巡る対立が生じる要因を考える。
	30 化石燃料から再生可能エネルギーへ 【地球を、「電池切れ」にさせないために。】			・世界中で需要が高まっているエネルギー資源についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・化石燃料や再生可能エネルギーについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・エネルギー資源の分布や環境への影響などについて、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・エネルギー資源の生産および消費に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○エネルギー資源の種類について理解する。 ○再生可能エネルギーへの関心が高まった背景を理解し、再生可能エネルギーの割合が拡大しない要因を考える。
	(3節 人口問題) 31 発展途上国の人口問題 【人が増えたのはなぜ?何が問題なのだろうか。】			・さまざまな要因がからむ世界の人口問題について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・世界人口の変化や分布、増減などの特徴、発展途上国の人口問題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる世界の人口問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・地球規模での解決がせまられる世界の人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○18世紀後半以降から現在にかけての世界の人口推移とその背景を理解する。 ○発展途上国が抱える人口問題を理解し、その要因・影響を考える。
	32 先進国の人口問題 【若者が減り、高齢者が増えるとどうなる?】			・先進国の人口問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・先進国の人口問題について、少子高齢化の要因や影響などに着目して、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・おもに先進国で進む少子高齢化について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・解決のせまられる先進国の人口問題に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○先進国において少子高齢化が進む背景とその影響について理解する。 ○少子高齢化対策として先進国で行われる取り組みを理解し、その成果や課題を考える。
	(4節 食料問題) 33 食料需給をめぐる問題 【増産しても、まだ足りない。なぜだろうか。】	12月		・地域的な要因のからむ世界の食料問題について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・食料供給、食料増産、食料流通の地域差、さまざまな側面から見た世界の食料問題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・需給のアンバランスな世界の食料問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・飽食と飢餓の両方が存在する世界の食料問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○食料問題が生じる背景について理解する。 ○食の安全に関する問題について知り、その対策について理解する。
	(5節 居住・都市問題) 34 発展途上国の居住・都市問題 【人は、何を求めて都市に向かうのか。】			・解決のせまられる発展途上国の都市問題について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・都市の機能と都市化、都市問題の発生などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・さまざまな要因のからむ発展途上国の都市問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・複雑で多様な世界の都市問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○発展途上国で進む都市人口の増加の背景を理解する。 ○発展途上国の大都市における生活や都市環境の変化から居住問題について理解する。
	35 先進国の居住・都市問題 【なぜ、再開発が必要なのか。】			・都市内部の地域で異なる先進国の居住・都市問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・各地域の社会状況にあった具体的な解決が求められる先進国の居住・都市問題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・先進国の居住・都市問題について、都市の内部構造をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・日本をふくむ先進国の居住・都市問題に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○先進国の都市化と郊外化、そして都市再開発までの動きとそれぞれの背景について理解する。 ○先進国の居住・都市問題を郊外化や都市再開発から考える。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
	(6節 民族問題) 36 民族問題・難民問題 【くり返す対立で、国を追われる人々がいる。】			・深刻さを増す民族問題・難民問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・さまざまな要因がからむ民族問題・難民問題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・民族問題・難民問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・地球規模での解決がせまられる民族問題・難民問題に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○難民と民族問題について理解する。 ○民族問題の背景について考える。
	(7節 持続可能な社会の実現をめざして) 37 地球的課題と国際協力 【グローバルな課題を、解きほぐす糸口とは。】			・地球規模で起きている課題とそれに対する国際協力についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・さまざまな要因がからむ地球規模で起きている課題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・地球規模で起きている課題とさまざまな形で行われている国際協力について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・地球規模で起きている課題とさまざまな形で行われている国際協力に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地球規模で取り組むべき課題が、相互に関連しあっていることを理解する。 ○先進国と発展途上国の対立など、さまざまな課題があることを理解し、持続可能な開発のための解決法を考える。
第3編第1章	自然環境と防災 1節「日本の自然環境の特色」 2節「さまざまな自然災害と防災」	1月～2月	9	・変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・多発している日本列島の自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○日本列島の自然環境の特徴について世界的な視点からとらえるとともに、地形と気候の両面から理解する。 ○日本列島の自然環境の特徴と各地域において発生する自然災害との関係性について、世界的な視点から考察する。 ○日本列島におけるさまざまな自然災害の発生要因について自然環境や社会環境との関わりから考察する。 ○自然災害が人々の生活や社会全体へもたらす影響について多面的・多角的に考察する。 ○自然災害が人々の生活や社会全体へもたらす影響をふまえ、地域性をふまえた防災・減災対策と災害に強い持続可能な地域づくりのあり方について考察する。
	(1節 日本の自然環境の特色) 38 日本の地形の特色 【火山や、流れの速い川。日本は動き続けている。】	1月		・自然災害や人々の生活との関係性についての基本的な事柄や世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴を理解し、その知識を身に付けている。 ・世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴とそれが河川や海岸の特徴や人々の生活にもたらす影響について考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴と自然災害や人々の生活との関係性についての関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○日本の地形の特徴について理解する。 ○日本の地形の特徴が河川や海岸の特徴にどのような影響を与えているかを理解する。
	39 日本の気候の特色 【四季ある国の、季節ごとの天候は？】			・世界的な視点からみた日本列島の気候の特徴と、自然災害や人々の生活との関係性についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・世界的な視点からみた日本列島の気候の特徴について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・日本列島の気候の特徴をもたらす要因について世界的な視点から追究するとともに、それが人々の生活に及ぼす影響について考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・世界的な視点からみた日本列島の気候の特徴と自然災害や人々の生活との関係性についての課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○日本の春夏秋冬それぞれの季節を特徴づける天候・気候の要因を理解する。 ○日本各地の地域ごとの気候の特徴を理解する。
	(2節 さまざまな自然災害と防災) 40 地震災害・津波災害(1) 【地震が発生するメカニズムとは。】			・地震や津波の発生メカニズムや、それによってもたらされる被害の状況についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地震や津波の発生メカニズムや、それによってもたらされる被害の状況について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・地震や津波の発生メカニズムやそれによってもたらされる被害の状況について考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・地震や津波の発生メカニズムやそれによってもたらされる被害の状況についての課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○プレート境界地震とプレート内地震の違いについて理解する。 ○震源の位置や土地の条件によって、引き起こされる被害にも違いがあることを理解する。
41 地震災害・津波災害(2) 【くり返す地震を、災害史から学ぶ。】			・地震や津波の発生頻度とその周期性、災害軽減へ向けての対策、災害時に取るべき避難行動についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地震や津波の発生頻度とその周期性、災害軽減へ向けての対策、災害時に取るべき避難行動について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・地震や津波の発生頻度とその周期性、災害軽減へ向けての対策、災害時に取るべき避難行動について考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・地震や津波の発生頻度とその周期性、災害軽減へ向けての対策、災害時に取るべき避難行動についての課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○過去の災害の記録が今後の災害の軽減につながり得ることを理解する。 ○ハザードマップを利用し、身近な地域の自然災害の可能性を読み取る。	

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	42 火山の災害とめぐみ 【火山をよく知り、共存していくために。】			<ul style="list-style-type: none"> 火山災害が人命に及ぼす被害や災害の発生メカニズム、火山のもたらす恩恵についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 火山災害が人命に及ぼす被害や災害の発生メカニズム、火山のもたらす恩恵について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 火山災害が人命に及ぼす被害や災害の発生メカニズム、火山のもたらす恩恵について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 火山災害が人命に及ぼす被害や災害の発生メカニズム、火山のもたらす恩恵についての課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島において火山活動が活発な理由を理解する。 火山活動にともなう災害の種類を理解する。 火山活動が関係するさまざまなめぐみを理解する。
	43 気象災害(1) 寒さ・暑さと台風 【雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす?】	2月		<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに生じる気象災害の発生メカニズム、それがもたらす被害の状況や人々の生活に与える影響、災害軽減に向けた対応策についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 季節ごとに生じる気象災害の発生メカニズム、それがもたらす被害の状況や人々の生活に与える影響、災害軽減に向けた対応策について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに生じる気象災害の発生メカニズム、それがもたらす被害の状況や人々の生活に与える影響、災害軽減に向けた対応策について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに生じる気象災害の発生メカニズム、それがもたらす被害の状況や人々の生活に与える影響、災害軽減に向けた対応策についての課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの季節で発生しやすい気象災害とその特徴について理解する。 それぞれの季節で発生しやすい気象災害の要因・影響を考える。
	44 気象災害(2) 大雨と洪水・土砂災害 【大雨で、あふれる水。何が起るのだろうか。】			<ul style="list-style-type: none"> 大雨や集中豪雨をもたらす各種災害とそれらの発生メカニズム、被害の状況、災害軽減に向けた対応策についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 大雨や集中豪雨をもたらす各種災害とそれらの発生メカニズム、被害の状況、災害軽減に向けた対応策について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨や集中豪雨をもたらす各種災害とそれらの発生メカニズム、被害の状況、災害軽減に向けた対応策について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨や集中豪雨をもたらす各種災害とそれらの発生メカニズム、被害の状況、災害軽減に向けた対応策についての課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨や集中豪雨によって発生する洪水災害は、どのように発生するのか、その原因を理解する。 土砂災害の発生メカニズムを理解し、どこで被害を受けやすいかを考える。
	45 都市と自然災害 【都市を襲う災害、危険はどこにある?】			<ul style="list-style-type: none"> 都市における各種災害の発生要因、災害をもたらす被害の状況、災害軽減に向けた対応策についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 都市における各種災害の発生要因、災害をもたらす被害の状況、災害軽減に向けた対応策について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市における各種災害の発生要因、災害をもたらす被害の状況、災害軽減に向けた対応策について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市における各種災害の発生要因、災害をもたらす被害の状況、災害軽減に向けた対応策についての課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市型災害にはどのようなものがあるかを理解する。 そのうえで、都市型災害の要因・影響を考え、都市型災害が発生した際にどのような行動をとるべきかを考える。
	46 防災・減災と復旧・復興 【地域を災害から守るためいま、できることは?】			<ul style="list-style-type: none"> 自助・共助・公助の観点から防災・減災へ向けた取り組みとその課題について、各地域におけるさまざまな事例を理解し、その知識を身に付けている。 自助・共助・公助の観点から防災・減災へ向けた取り組みとその課題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自助・共助・公助の観点から、防災・減災へ向けた取り組みとその課題について、各地域におけるさまざまな事例をもとに考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自助・共助・公助の観点から、防災・減災へ向けた取り組みとその課題について意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害の対応について、自助・共助・公助の観点からどのようなことが行われているか理解する。 これまでの災害の教訓を生かし、特に、自助・共助において、どのような対策を講じていくべきかを考える。
第3編第2章	生活圏の調査と地域の展望	3月	4	<ul style="list-style-type: none"> 地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域調査の手順や具体的な手法を理解し、身近な地域において地域調査を実践する。
	47 調査テーマの設定 【学校のまわりの、地理的テーマを探せ!】			<ul style="list-style-type: none"> 地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 身近な地域の特徴を理解するため、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の特徴をとらえるために、適切なテーマを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の変遷を新旧地形図の読み取りなどから理解する。 身近な地域の課題に対して異なるスケールを織り交ぜて考察し、調査テーマを設定する。
	48 地域調査1(資料調査) 【「〇〇かな?」まずは仮説を立ててスタート。】			<ul style="list-style-type: none"> 地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 身近な地域の特徴を理解するため、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の特徴をとらえるために、適切な仮説を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の情報を得るためのさまざまな手段と注意点を理解する。 身近な地域で生じている課題の要因をさまざまな角度から分析し、仮説を設定する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
	49 地域調査2 (野外調査) 【どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。】			<ul style="list-style-type: none"> 地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 身近な地域の特徴を理解するため、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の特徴をとらえるために、野外調査の結果を考察し、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○野外調査の目的に応じた方法を理解する。 ○野外調査を計画し、実施する。
	50 まとめと発表 【地域のこれからの、皆で考えていくために。】			<ul style="list-style-type: none"> 地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 身近な地域の特徴を理解するため、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿って考察し、明らかになったことを適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域調査のまとめ方について理解する。 ○調査結果に応じた、まとめ方や発表形式を選択し、身近な地域の課題解決に向けた発表を行う。
定期テスト	1学期中間 1学期期末 2学期中間 2学期期末 3学期期末	5月 7月 10月 12月 3月	50	用語などに関する出題から、知識・技能の定着の実態を把握する。	論述問題などにより、思考・判断・表現能力を見る。		